

令和6年11月28日

令和6年11月羽島市教育委員会定例会会議録

令和6年11月羽島市教育委員会定例会会議録

令和6年11月28日、令和6年11月羽島市教育委員会定例会を羽島市役所本庁舎3階302会議室において開いた。

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 報第23号 羽島市教育委員会の後援等承認の報告について
日程第3 ※報第22号 令和6年度準要保護児童生徒の認定等の報告について
日程第4 ※承第5号 臨時代理の報告並びにその承認について(専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて))
日程第5 ※議第43号 羽島市青少年問題協議会委員の委嘱について
日程第6 その他
1 各課の事業進捗状況
(※印は秘密会で開催)

本日の会議に付した議事
議事日程に同じ

出席者

教育長(議長)	森	嘉	長
教育委員	今	枝	甫
教育委員	春	日	民
教育委員	今	井	田
教育委員	吉	川	功

説明のため出席した職員の職氏名

事務局長	不	破	勝	秀
事務局次長兼教育政策課長	小	川	隆	正
事務局次長兼教育政策課施設担当課長	稲	葉	佳	樹
事務局次長兼学校教育課長 兼教育支援センター長	高	橋	浩	之
西部幼稚園長	安	藤	賢	治
北部学校給食センター所長	竹	内	弘	明
南部学校給食センター所長	亀	山	佳	枝
市民協働部次長兼生涯学習課長	岩	田	睦	巳
図書館長	番		重	宗
スポーツ推進課長	柴	田	泰	宏

午後1時30分開議

日 程	発言者	発 言 の 要 旨
教育長挨拶	教育長	・ 教育実践公表会について 中央中学校、中島小学校、堀津小学校の3校において行

		<p>われたが、大きく2点、印象に残ったことがある。</p> <p>1点目は、児童生徒が授業の課題や狙いをきちんと持ち、授業の中で他の児童生徒と交流や練りあいが積極的になされ、学習が深まっていたことである。児童生徒からも交流や教え合いが楽しいという言葉が多く聞かれた。</p> <p>2点目は、毎回感じることではあるが、実践や研修を通して先生方が、教科や総合的な学習の時間の指導に自信を持たれるようになったことである。伴って、児童生徒が学習の狙いがわかり、見通しを持って学ぶ姿がみられた。</p>
開 会	議長	<p>出席委員が定足数に達していることから令和6年11月羽島市教育委員会定例会の開会を宣言する。</p> <p>報第22号、承第5号及び議第43号について秘密会としたい旨述べ、委員の発言を求める。(各委員から異議なしの声あり。)</p> <p>異議がないので、報第22号、承第5号及び議第43号について秘密会とすることが承認された旨述べる。</p>
日程第1	議長	本日の会議録署名委員に春日委員を指名する。
日程第2	議長	報第23号を議題とする旨述べ、説明を求める。
	【説明】	<p>以下の後援事業の申請者、目的、事業開催内容等を説明する。</p> <p>【教育政策課長】 (木曾三川流域第28回学童交流軟式野球大会、羽島女声コーラスのうたまつり～50年ありがとうコンサート～、羽島市音楽芸術協会ニューイヤーコンサート)</p> <p>【学校教育課長】 (子ども冬の自然体験活動(24ふくい冬のさとやまキャンプ))、こどもの未来応援講座、こども向け料理教室)</p>
	議長	<p>委員の発言を求める。</p> <p>【今枝委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さとやまキャンプはどのような施設で泊まるのか。 また、岐阜ではなく福井だが参加者はどれくらいいるのか。 (事務局) ・ 夏はテントで冬はコテージを利用し、参加は概ね10人弱である。 <p>さらなる発言を求める。 発言がないので日程第2 報第23号の報告を終える旨述べる。</p>
日程第3	議長	報第22号を議題とし、秘密会で行う旨述べる。(以下日程第3から日程第5までは秘密会)
日程第4	議長	承第5号を議題とする旨述べる。
日程第5	議長	議第43号を議題とする旨述べる。
日程第6	議長	秘密会を解く。

	各課の事業進捗状況の説明を求める。
【説明】	【教育政策課長】 <ul style="list-style-type: none"> 新しい時代の学校構想検討委員会について 11月1日（金）に第10回が開催され、答申が提出された。この内容はホームページに掲載予定である。
議長	委員の発言を求める。 【今枝委員】 <ul style="list-style-type: none"> 答申の一つ一つを事務局の立場として具体化させていくことを考えたとき、非常に大変だと感じた。 今後少子化が進んでいき、施設の老朽化も進んでいるが現状のままでいいのか、新たな方針を決めるとするならば子どものことを第一に考えたうえで、保護者等に丁寧な説明をしていくべきだと思う。 【吉川委員】 <ul style="list-style-type: none"> 実際にどんな取り組みをするかを一度拾い出して、その中で優先順序と重要性を鑑みて、取り組むべきものと先送りするものと整理する必要があると感じた。 今後の取り組みの中で、どのように具体的に落とし込むか、たくさんのエキスパートの方と協力して検討しないと実現は難しいのではないかと。 【今井田委員】 <ul style="list-style-type: none"> 答申の中で保護者、地域が特に気になることは、「学校の小規模化への対応」、「子どもたちの願いを実現できる学校配置、学校施設の整備」だと思う。 少子化に向かっていく中で、子どもたち、保護者、地域等から丁寧に意見を吸い上げて、今後進めていく必要があるだろう。 【春日委員】 <ul style="list-style-type: none"> 優先順位をつけて、すぐにできそうなことと、長い目でみないといけないことがあると感じた。 様々なことを考えるにあたり、保護者の理解を深めたり得たりしつつ、子どもの気持ちに寄り添っていくべきだと思う。
【説明】	【学校教育課長】 <ol style="list-style-type: none"> いじめの状況について 10月1日から10月31日までの間に報告があった事例は、児童4件、生徒4件の合計8件である。 不登校の状況について 10月の不登校の状況は、小学校・前期課程51名、中学校・後期課程100名の計151名である。 前年度と比較すると小学校が大幅に増加傾向にある。中学校に関しては、依然として3年生が多い。進路実現や卒業に向けて、少しずつ登校できている子もおり、担

	<p>任も生徒の抱える進路に関する不安等と向き合う必要があるため、アクション会議等で指導を行っている。</p> <p>30日以上欠席、不登校の人数は10月末時点で140人であり、昨年度よりも増加傾向にある。会える子に関しては、適応指導教室等の利用を含め、支援体制を作れるよう学校と連携していくとともに、定期的な関わりを途切れさせないようにスクールソーシャルワーカーに動いていただいで必ず顔を出すなど、週に2回はコンタクトを取るようになっている。</p> <p>(3) 交通事故・学校事故の状況について 交通事故は、1件であった。 学校事故は、1件であった。</p> <p>(4) 学級閉鎖について マイコプラズマによる学級閉鎖が1件であった。</p>
議長	<p>委員の発言を求める。</p> <p>【春日委員】</p> <p>(1) 子どもたちがいじめの現場を目撃した時に、自分が先生に報告したことで次のターゲットにされたら嫌だと思えるのか、先生に教えてくれないということがあると聞いた。</p> <p>いじめの指導については、先生に教えてくれたら、その子も最後まで守りますよということも伝えるとよいと思う。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喧嘩自体を止めることは巻き添えにならないか子どもたちは怖いようで、そこにはなかなか手が出ないが、それを見て、先生に伝えに来てくれる子がいるので、そういう行動も正しいよと、学校で伝えている。 <p>(2) 適応指導教室やスクールソーシャルワーカー等、不登校の子どもたちに手厚くするのは、大事なことで、学校に出られる状況を作ってあげたいことはわかる。</p> <p>ただ、不登校の子ども達が運動会等の様々な事業に円滑に参加できるように、彼らの分の準備を普通に学校に来ている子ども達がしていると聞く。不登校の子ども達も大事だが、学校に来ている子ども達が不公平感を感じないことも大事であり、難しい問題であると感じた。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが、なぜ私がやらなければならないのかと思うのは当然の気持ちである。ただ、子ども達が不登校の子ども達に対して、「よく来てくれたね」と思うか、「なぜ行事だけくるのか」と思うのかは、教員の指導の仕方次第である。

		<p>どうやって子どもたちの中で受け入れてもらえるか指導することは、なかなか一朝一夕にできることではなく、丁寧に取り組んでいくしかない。</p>
		<p>【西部幼稚園長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠足、命を守る訓練、焼き芋会、お店さんごっこイベントが多い月であった。 <p>【南・北学校給食センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>【生涯学習課長】</p> <p>(1) 竹鼻町屋ギャラリー</p> <p>「記憶のかたち—佐藤典克陶芸展」が終了した。開催期間中には、中央小学校の6年生の児童の皆さんが歴史民俗資料館や佐吉伝周辺のオリエンテーリングを企画され来館した。学芸員の話真剣に聞いてくれた姿が印象に残ったと、学芸員から聞いている。</p> <p>(2) 羽島市文芸祭の最優秀作品の展示会</p> <p>文化センターの方で11月21日から24日まで行った。小中学生の皆さんから1723点の作品が出品され、このうち優秀な18点を展示した。</p> <p>【図書館長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>【スポーツ推進課長】</p> <p>(1) 羽島若獅子駅伝競走大会（12月1日）</p> <p>昨年度と同様に桜堤サブセンターで行う。今回は駅伝の部とリレーマラソンの部の二つの部門の開催としたが、駅伝は25チーム、リレーは14チームで合計39チームが参加する。昨年度より14チーム増加した。</p> <p>(2) FC岐阜サッカー教室（12月6日）</p> <p>正木小学校の3年生を対象に行う。11月15日には4年生を対象に実施した。</p> <p>【事務局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし
	議長	委員の発言を求める。(特になし)
閉会	議長	以上で本日の議事日程は全て終了したので、令和6年11月羽島市教育委員会定例会の閉会を宣言する。

午後3時30分 閉会

上記会議の概要を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年11月28日

教育長 森 嘉 長

委 員 春 日 民 奈
